

## \* 参考…240の申合せ事項、了解事項について

240の運用方法その他について、過去の総会、その他の機会に討議され、決定して来た事項等を参考までに列記します。

時代も推移し、当然見直すべき点もあると思いますが、多くの先達が、永年かけて模索し、築いてきた伝統を守り、生かしていきたいものと思います。

### (50.240SSBモバイルグループの主旨と概要)

#### 『主旨』

50MHz SSBのモバイル運用に興味を持ち、SSBモードの特色を生かしたモバイル運用のあらゆる可能性に挑戦し、各種の実験ならびに研究を行い、50MHz SSBモバイルの発展に寄与すると共に、全国的な呼出し周波数を確立する事を本旨に、現にモバイル局から運用を行っている者、これからモバイル運用を予定している者、又、固定局でモバイル局との交信実験を行いたい者が、自由参加のグループとして、50.240MHzを呼び出し周波数に設定し、JARL制定のアマチュアコードに則り、常に紳士的な言動を基調として運用する。

#### 『概要』

- 1、オンエアーミーティングを実施し、各種インフォメーションの伝達と、情報交換を行っている。  
(毎週月曜日21時おり、50.240MHzにて)
- 2、毎年、総会、電波伝ぱん実験、技術講習会、忘年会のイベントが行われる。
- 3、その他、モバイル局を優先し、固定局はモバイル局のバックアップに努める事と、QSOの合間にはブレイクタイムをとって、何時でも、何処からでも、ブレイクがかけられるように心掛けながらQSOする習慣となっている。

### (50.240SSBモバイルグループ運用心得)

1. モバイル局を優先し、固定局はバックアップにつとめましょう。
2. QSOの合間には、必ずブレイクタイムを心がけましょう。
3. 特定の局と個人的な話題で長時間QSOする場合はQSYしましょう。
4. QSOはルールに従って、楽しい話題を提供しましょう。
5. リグ、アンテナを常にベストの状態に維持しましょう。
6. モバイル走行中のQSOは、特に安全に気を配りましょう。
7. 「サブ周波数」にQSYしましょう。

(合言葉)

\* 『より強く、より遠く』

\* 『ブレイクは、誰でも、何時でも、何処からでも』

私達、50.240MHz SSB モービルグループのメンバーは、アマチュアコードに則り、運用エチケットを守り、アマチュア無線運用規範に従って、紳士的な交信、運用をしましょう。

(注)

①アマチュアコード……………JARL 制定

②アマチュア無線運用規範……………JARL 制定

③運用エチケット……………JARL 会員手帳に記載

(その他)

\*ブレイクタイムの取り方

①QSO中の、話し始めの時、相手には、聞こえている(了解している)事を伝える為、一言返事を発し、一旦PTTスイッチを離し、ブレイク局の有無を確かめる為の時間を空ける。

この際、弱い信号を聞き漏らさないように心掛ける事と、習慣として、必ず実行する事。

②2局或いは、多数の局のQSOが、少し長時間になった場合は、「他にブレイク局有りますか」とブレイクタイムをとり、待機しているブレイク局が出られる機会を作るようにする。

(話題、話の流れによっては、ブレイクを遠慮している場合もあるので、できるだけ、特定の局が周波数を独占することの無いように心掛ける)

以上のような事が、過去の申し合わせ事項、了解事項です。

御意見については、幹事局にお寄せいただき、皆さんで合議、検討し、原点を忘れる事無く、より良く発展の途が展げるようにしていきましょう。